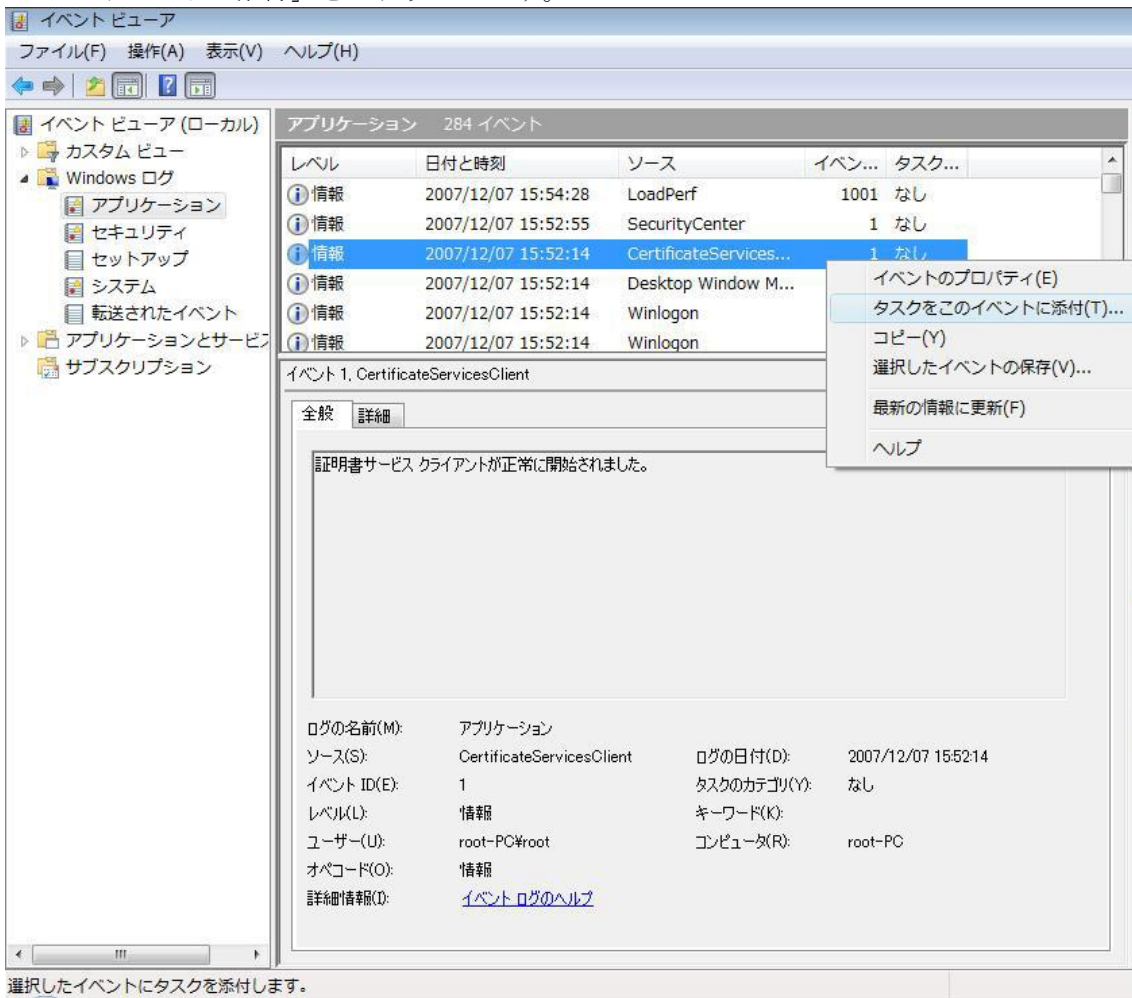


●Windows Vista / Windows Server 2008 のイベントビューアに記録された任意のイベントから警子ちゃんシリーズを動作させる方法

1. ISA remote shell (IRSH) をインストールします。(Windows Vista / Windows Server 2008 には Remote shell コマンドが用意されていません)
2. 「スタート」 - 「管理ツール」 から「イベントビューア」をクリックします。
3. イベントビューアが表示されたら、任意のイベントを右クリックで選択して、「タスクをこのイベントに添付」をクリックします。



4. 「基本タスクの作成ウィザード」が起動したら、「基本タスクの作成」の「名前」欄に任意の名称を記述して、「次へ」をクリックします。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "基本タスクの作成ウィザード" (Basic Task Creation Wizard). The main title bar includes a close button (X). Below the title bar, there is a clock icon and the text "基本タスクの作成".

On the left side, there is a vertical progress indicator with three steps: "基本タスクの作成" (highlighted in blue), "イベントがログに記録されたとき" (Event recorded in log), "操作" (Action), and "完了" (Completed).

The main content area contains the following text: "このウィザードでは、共通タスクを素早くスケジュールします。複数のタスク操作やトリガなどの詳細オプションや設定は、[操作] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。"

Below this text, there are two labels: "名前(A):" and "説明(D):".

- The "名前(A):" label is followed by a text input field containing the text "認証サービス正常起動".
- The "説明(D):" label is followed by a large, empty text area.

At the bottom right of the dialog, there are three buttons: "< 戻る(B)", "次へ(N) >" (highlighted in blue), and "キャンセル".

5. 「特定イベントのログへの記録時」が表示されたら「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the same "基本タスクの作成ウィザード" dialog box, but now at Step 2: "特定イベントのログへの記録時" (Recording in Log for Specific Event). The progress indicator on the left now highlights "イベントがログに記録されたとき".

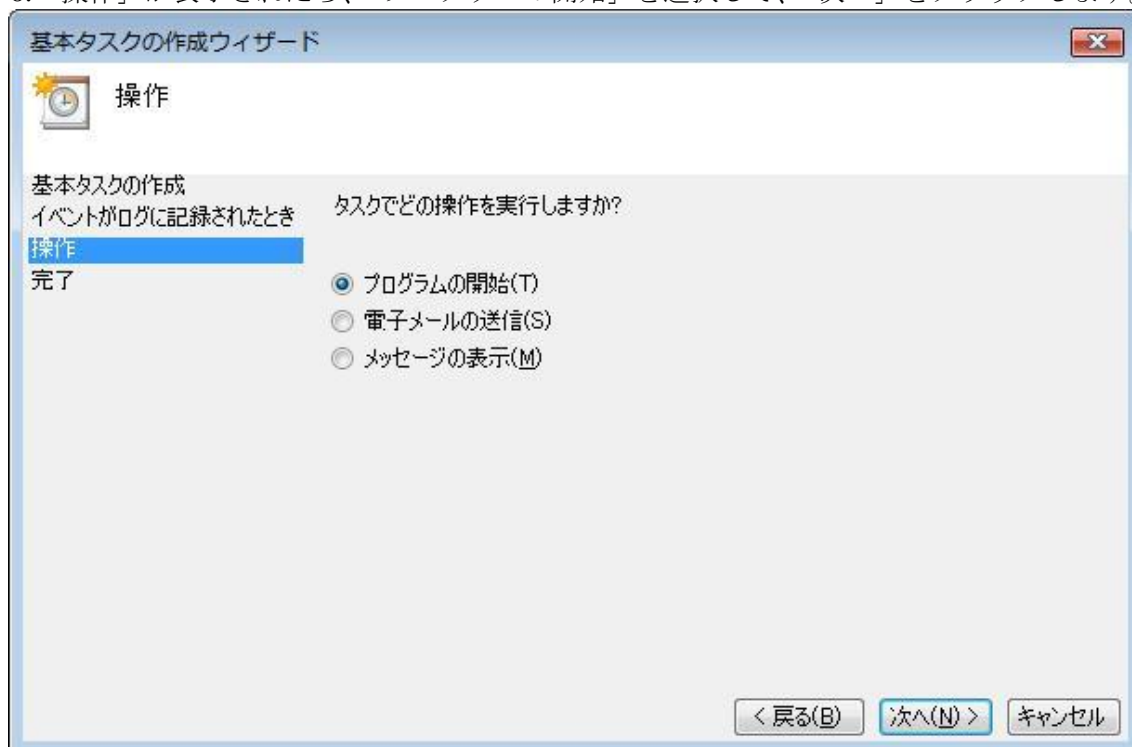
The main content area contains the following text: "基本タスクの作成" (Basic Task Creation).

Below this text, there are three labels: "ログ(O):", "ソース(S):", and "イベント ID(E):".

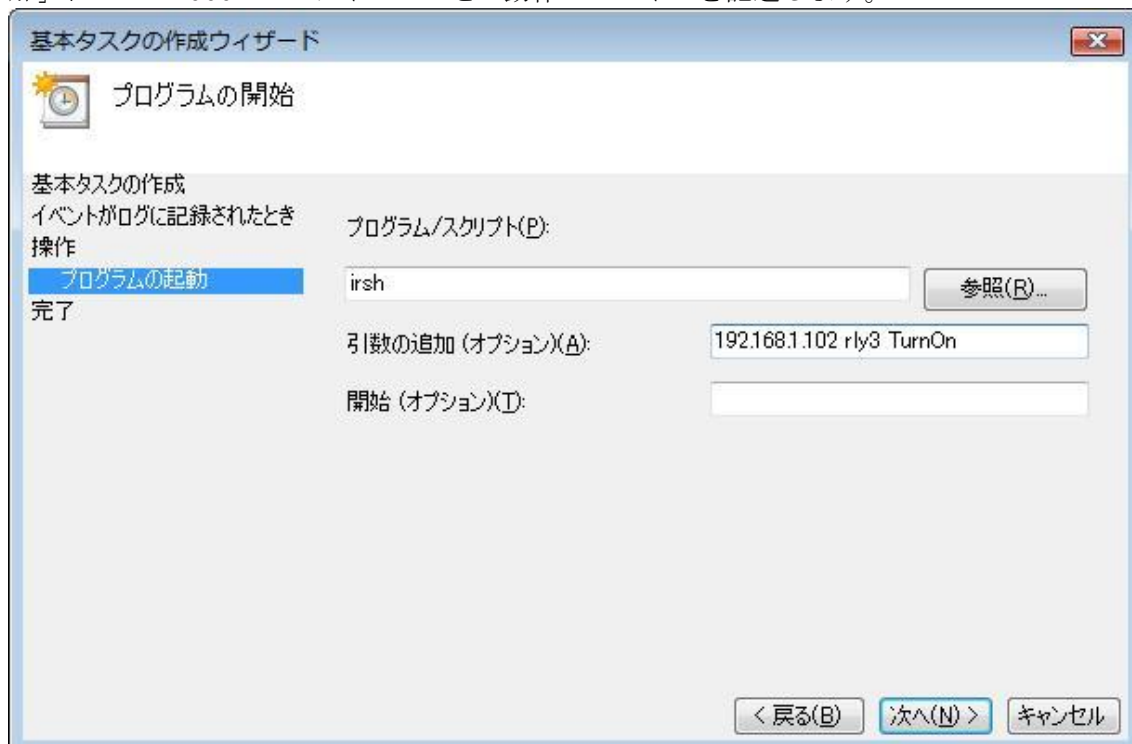
- The "ログ(O):" label is followed by a dropdown menu showing "Application".
- The "ソース(S):" label is followed by a dropdown menu showing "Microsoft-Windows-CertificateServicesClient".
- The "イベント ID(E):" label is followed by a text input field containing the number "1".

At the bottom right of the dialog, there are three buttons: "< 戻る(B)", "次へ(N) >" (highlighted in blue), and "キャンセル".

6. 「操作」が表示されたら、「プログラムの開始」を選択して、「次へ」をクリックします。

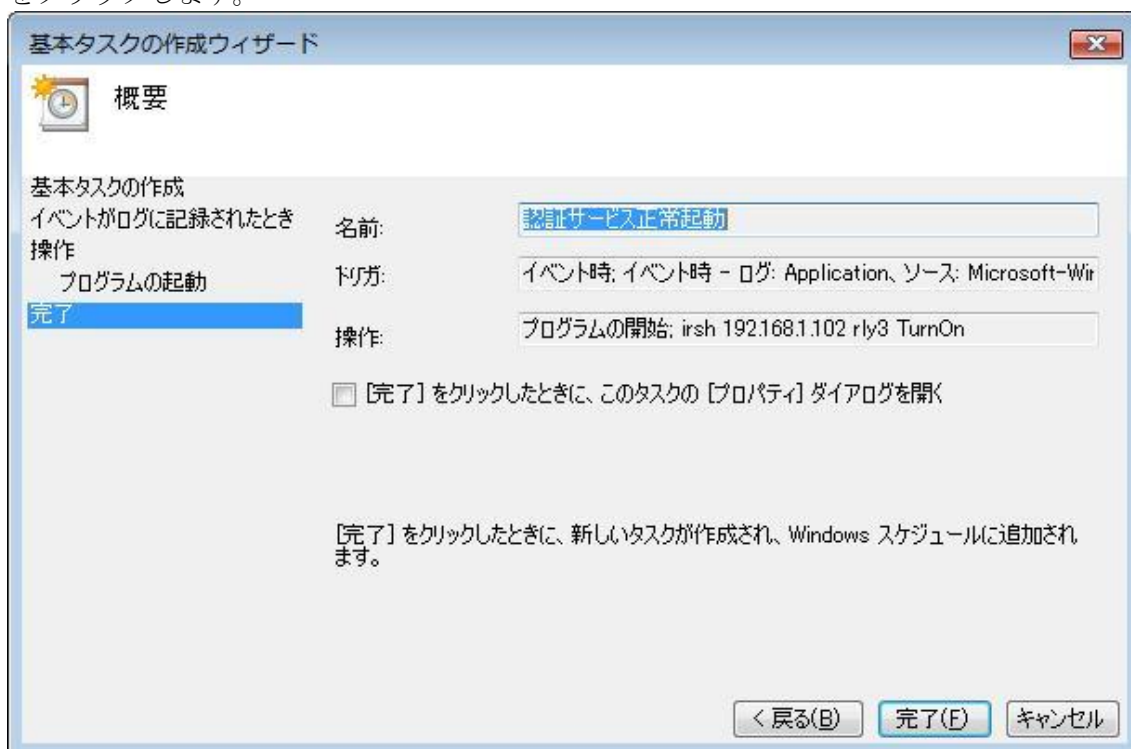


7. 「プログラムの開始」が表示されたら、「プログラム/スクリプト」に "irsh"、「引数の追加」に "DN-1000 の IP アドレス" と "動作コマンド" を記述します。



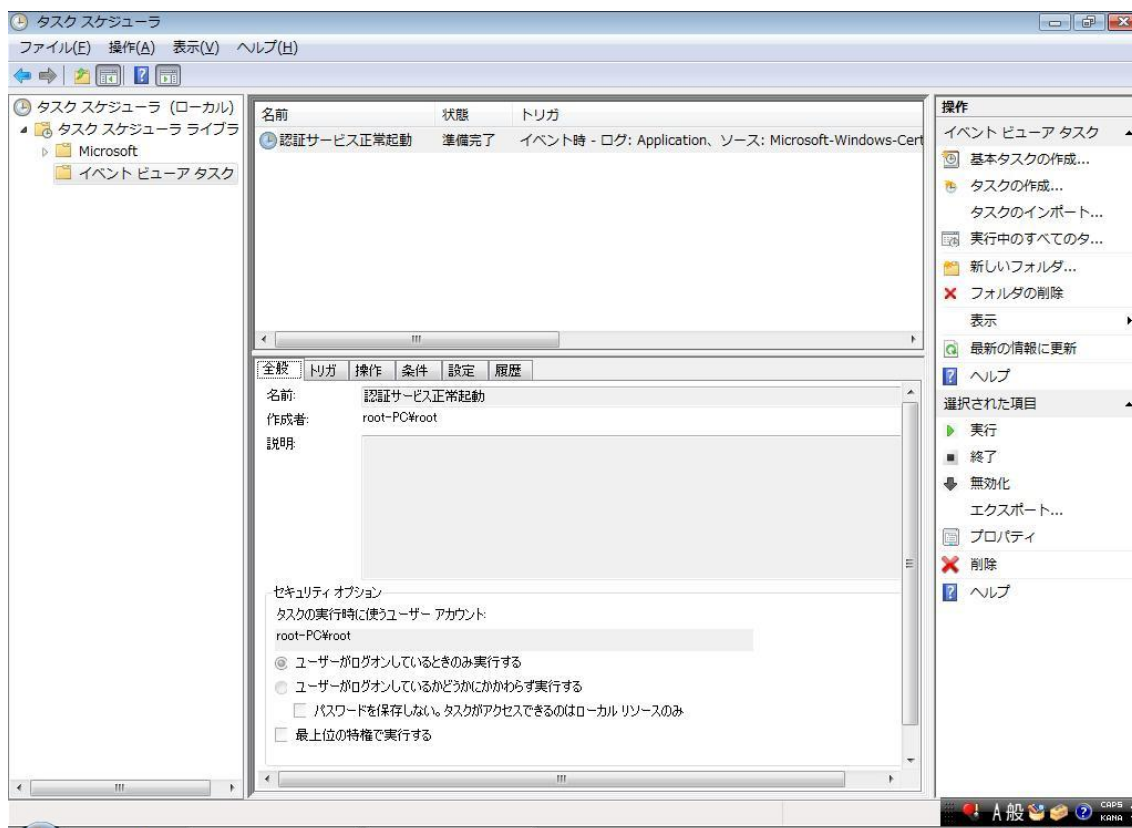
※ 「引数の追加」に記述された箇所を「プログラム/スクリプト」へ記述した場合でも、コマンドは正しく実行されることを確認しています。

8. 「概要」が表示されると、今まで設定した内容が確認できるので、問題がなければ「完了」をクリックします。



9. 「スタート」 - 「管理ツール」 から、「タスクスケジューラ」をクリックします。

10. 「タスクスケジューラ」が起動したら、「イベントビューア タスク」に設定したタスクが保存されていることを確認します。



※「操作」タブをクリックすると、イベント発生時に実行されるコマンドを確認できます。  
※タスクを削除する場合は、タスクを右クリックで選択し、「削除」をクリックします。

この方法は Windows XP Professional および Windows Server 2003 で用意された「eventtriggers」コマンドを GUI 化したものです。

参考 URL [http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc773308\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc773308(WS.10).aspx)